

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策I-2-1
売れる農林水産品・加工品づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 農産園芸課長 鳥屋尾 健史 電話番号 0852-22-5123

事務事業の名称	地域農業経営確立支援事業	
目的	(1) 対象	農業者等
	(2) 意図	効率的かつ安定的な農業経営の育成を支援する。
事業概要	効率的かつ安定的な農業経営体の育成のため、国庫事業等により経営拡大などを実施した地区（農業者）に対し、経営指導などのコンサルティングを実施する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	経営目標達成経営体割合	目標値		0.0	33.3	33.3	66.6	%
	式・定義	経営目標達成経営体数/指導対象経営体数（3経営体）	取組目標値						
			実績値	0.0	0.0	33.3			
			達成率	-	-	100.0	-	-	%
2	指標名		目標値						%
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	2,478	2,014
うち一般財源 (千円)	2,478	2,014

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

3地区の農業経営体の経営改善指導を外部コンダクター（指導者）に委嘱し、対象経営体への経営指導等を実施している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

対象経営体で生産された農産物等の販路拡大を図ることができている。
また、経営指導により、コスト削減など経営の効率化を進めつつある。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

一部経営体では、生産性に問題を抱え、生産量が計画どおり確保できていない。
また、想定外の資材使用などコスト削減による経営の効率化が思うように図れていない。

②困っている状況が発生している「原因」

生産者の経験不足により経営指導等が生かされていない。

③原因を解消するための「課題」

各経営体の経営状況を客観的に把握し、継続して経営指導等を実施する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

今後も、地域の事情に精通したコンダクターにコンサルティング業務を委嘱することにより、現状を客観的に分析し、各経営体毎に計画的な経営指導を実施することで、目標達成を支援する。